

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1994. 12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 128

日本野鳥の会 埼玉県支部

猫への対策

シェアリングアース協会
代表 藤本和典

はじめに

わたしが庭に野鳥を招待するようになってかれこれ30年以上になります。始めた頃は、手作りの餌台にはなかなか鳥はやって来なくて、餌をかえたり餌台の位置を動かしたりと苦労したものです。一ヶ月近くかかってやっとズメが餌を食べてくれた時は、カーテンのすき間から確認し大喜びしたものです。

でも、最近は一週間もしないうちにヒヨドリがパンをくわえて大きわぎしているなんていうのが普通になってしまいました。庭やベランダは安全そして美味しく栄養のある餌がもらえるよと、あたりまえのようにすぐに来てきます。外国製の見たこともない複雑な形をしたプラスチックのフィーダーもなんのその、シジュウカラはぶらさがったりつついたりヒマワリの種子を食べます。鳥にも文化があるのでしょうか。すぐにその地域に伝わり今では全国各地でいつ餌を用意しても、野鳥がすぐにやってくるのには驚きです。

猫とのかかわり

そんな野鳥の庭でも、ずっと変わっていないことがあります。猫とのかかわりについてなのです。わたしは猫が大好きですし、猫にも好かれるようで、散歩していてもよく猫の方から近寄って来るくらいです。一度コストリカのバードウォッチングの時には、頭の上ま

で登って離れなくなり、こまってしまったことがあります。

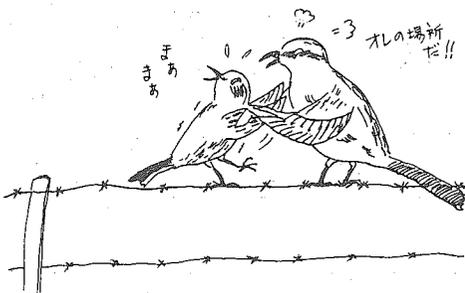
実は、この猫への対策が鳥を庭に招待する時の、一番の大切なポイントとなるのです。よく庭に鳥を集めていらっしゃる方から、色々なご質問を受けますが、多いのはやはり、猫についてのお問い合わせです。なかには野鳥とノラネコ両方に、庭先で餌をやっている方からの質問がありました。これはとても両立できませんので、猫か鳥どちらかに、猫は管理をして飼うことをおすすめしました。

イギリスなどでは、公園や庭先にたくさんの野鳥が見られます。ちょっとした、バックヤード（裏庭）サンクチュアリで、植木鉢の中でヨーロッパコマドリが巣を作ったり、垣根の間からミソサザイが鳴き、芝生でクロウタドリが餌を拾っていたりします。猫の飼い方や管理の仕方の違いが、野鳥達の多さでもわかります。NHKの早朝番組の中継があった時、5匹の猫を飼っているご近所の方に、特別にお願いして、当日は、猫を家から出さないようにしていただいたら、何といつもの5~6倍の鳥の量、その多さに野鳥の会の会員Mアナウンサーも大喜びでした。

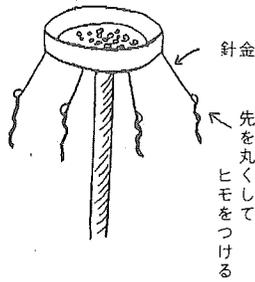
猫は、野鳥に大きな影響をあたえているのはまちがいありません。でも捕まえるわけにもいきませんし、追い払っても結局一時の対症療法でしかないのです。キジバトやジョウビタキなど地上で餌をとる野鳥をはじめだけの鳥が知らないうちに犠牲になっているかわからないほどです。ムクドリやハクセキレイのように地上でよく餌を拾うタイプの鳥が、見とおしのきかないせまい庭に降りないのは猫のためかもしれません。しっかりした猫対策は身近な野鳥をよりいっそう増やすこととなります。

ペットボトル

最近マスコミで取り上げられ、かなり有名になっていますのでみなさんもよくぞんじ



(押川 歳子)



(図1)

ではないかと思えます。東京、埼玉、海外とルーツは様々ですが、わたしは2年程前、初めて埼玉県妹の家で、ペットボトルを使用しているのを知りました。もともとは、大宮のお寺が庭で使用する砂に猫が寄るので置いたそうで、そのことが街のミニコミ紙に掲載されたということです。住職の話だと5匹のうち効果があったのは4匹のことです。

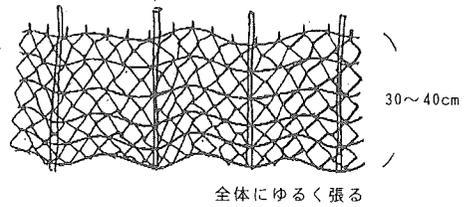
でも、妹の家のまわりでは、猫がいなくなったということです。ペットボトルはシールをはがし表面をきれいにし、水は半分位入れて、猫の通り道に置くのがコツのようで、餌台や巣箱のまわりに置いても猫は目的物に目がいって効果はないようです。光るのがいやでとおまわりするので来なくなるというのが本当の理由のようで、家でも適切に設置されたのか夏の間、キジバトが若鳥も含め、水浴びしたり地上で日向ぼっこしていました。リサイクル利用で簡単ですし、ためしてみたいかがでしょうか。

クレゾール液

これは一部の行政機関でもすすめているようですが、猫に対してとても危険なのでやめて下さい。クレゾール液が毛に付き、それをなめると猫を死にいたらせることもあります。

コーヒーのかす、たばこの吸いがら

コーヒーは、飲んだ後の出しがらを庭にまく方法で、たばこは吸いがらを水にひたし周辺にまくのですが、他の方法と併用でためしてみたいかがでしょうか。



(図2)

わたしの方法

以上は、一般に知られている猫対策ですが、実際にためした方もいるのではないかと思います。いま一つというのがやってみての感想でしょう。一番良かったのは、猫が来るたびに水をかけるのだと頑張っている方、これでは猫と人間のいつまでも続く根くらべですね。ここでわたしが現在行っている方法をいくつか出してみましよう。

餌台を釣り下げ型にすること。餌台を1.2m以上にすれば猫は鳥を捕れないといわれてきましたが、どうもそんなことはないようで1.5mでも飛び付きます。餌台が高いと管理がしづらいので、(図1)のような方法を考えました。猫に入っては困る所にもこの方法で防ぐことが可能です。

初め水場に来る猫の対策に考えたのですが、すこし位高い所でも猫は飛び付きますし、もぐり込んで来るので、網で囲ってみたのです。猫はひっかかるものがきらいなので、切り方に工夫をし、かえって飛びこえさせた時にひっかかるように網を切って見ると効果がありました。来てもらっては困る場所、水場などをU字型に囲んだり家の周囲全部にこの網を張りめぐらすと、猫は入りづらく、入っても追われた時ひっかかり、来なくなります。(図2)

どうしても来てもらいたくない巣を作っている木などには、鉄条網を巻くのが効果があります。猫がジャンプしたり飛び降りる場所には、鉄条網の円く輪にしたものを置くとよいでしょう。

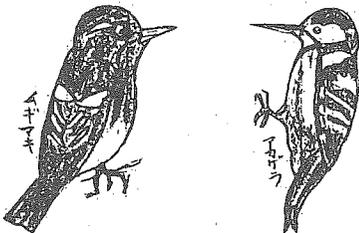
みなさんの家の庭にあわせたやり方があると思いますし、工夫していくつかの方法を併用なさることをおすすめします。この冬からは、庭先が鳥の楽園になることを願っています。

戸隠飯綱高原探鳥会の感想

鈴木 祐介 (鴻巣市・小六)

探鳥会一日目、昨日の大雨に打って変わって青空の探鳥会をむかえた。カケスやゴジュウカラやコゲラなど都会とは色が違う様に見えた、そして、野生の感じがしみじみ伝わってきた。翌朝少し疲れがでたのか朝六時四十五分までねてしまった。いよいよ二日目、珍鳥が出るかと、胸にしまって森林植物園に到着した。ゴジュウカラやキビタキを見ていたとき「あれムギマキじゃないか。」と言う声がぼくや他の人の耳に入った。そして珍鳥のムギマキがぼくの目に入りこんだ。のどの赤っぽいすえんじ色のあざやかさが目に焼き付いています。話し声がもり上がり、自分でもうれしく、ルンルン気分だった。そしてもう一つうれしかったのはアオゲラだった。杉の木などの中で、でかい物が木に止まった。ぼくの戸隠に来た理由はケラ類とくに、アカゲラやアオゲラがみたかったからです。そのアオゲラが来た時、にげないかとひや汗をかきました。なかなか見つからずリーダーに聞き、やっと見ることができました。ハトぐらいの大きさで、緑の羽と頭の赤さがよくみえた。今回の探鳥会でムギマキやアオゲラなどめずらしい鳥に会えた事は幸せでした。そして戸隠探鳥会で自然の美しさと鳥に対する興味が深められました。

この探鳥会をきっかけとし、これからも探鳥会にどんどん参加しようと思います。最後に、この自然をいつまでも守っていかねばと思います。紅葉とおそばのおいしかった探鳥会に参加できた事をうれしく思います。リーダーのみなさんお世話になりました。



(鈴木 祐介)

宮崎の秋

押川 歳子 (宮崎市)

こんにちは、いつもお世話になっております。宮崎もすっかり秋らしくなりました。

先日運動会シーズンにピッタリのシーンを見ました。

- ① ハクセキレイの短距離走
- ② コサギの電線綱渡り
- ③ カラスの借物競争(?)

コサギのような身長のある鳥が電線にとまったのを初めて見ました。フラフラしながら渡りきって電柱の上に立ったとき、思わず拍手をしてしまいました。

カラスの借物、すなわち、盗んでいるのですが、ある食堂の裏においてあった食料品の袋から少しずつつまんでは、ブロック塀の外側に落とすのです。それをくり返してそのあとゆっくり食べたのです。かしこいですネ。身近な所でも結構いろいろあるものです。



(押川 歳子)

行事案内のカットが戻ってきました

渡辺 敦 (名古屋市)

発送した3日後に舞い戻って来たのです。な、なんと、宛名が自分自身になっているではないですか。ワープロでラベル印刷をする際に、手順を間違ってしまったようです。そのうえ、ポストに入れる時点で、確認さえおこたり、このようなあきれた結果になってしまいました。

速達で再度お送りします。土曜日に届いてほしいと願いを込めて、今、一人、栄郵便局まで走ります。11月10日(木)深夜

(編集会議の始まる1時間前に届きましたー編集部)

野鳥記録委員会最新情報

1994年11月10日付け読売新聞朝刊によれば、同月1日、浦和市塚本の荒川河川敷において、ミヤマシトドが発見された。

通称秋ヶ瀬B地区で環境庁の委託を受けた山科鳥類研究所のバンディング調査に参加していた浦和市立南高校の生物教師、浜尾章二さんが、カスミ網にかかっているのを発見。その場でミヤマシトドの若鳥と同定し、写真撮影後、放鳥した。

ミヤマシトドは、「フィールドガイド日本の野鳥」によれば、全長15cm。ホオジロ科。カナダ・アメリカ西部で繁殖し、大部分は冬にアメリカ西部・南部やメキシコ・キューバに渡る。日本には、カナダ北西部の亜種が迷鳥として渡来すると見られ、1936年12月千葉県、1964年3月東京都、1969年3月北海道、1977年4月と10月石川県などで記録がある。埼玉県では初記録。

ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査

期日：1月15日（日・祝）

集合：午前9時

今年もカモ類の県内一斉調査を実施いたします。

下記の地点は特に、多くの会員のご協力をお願いしたい箇所です。

◇久喜市・昭和池

集合場所：昭和池駐車場

担 当：中島康夫、松井昭吾

◇所沢市・狭山湖

集合場所：狭山湖堤防の上

担 当：三田長久

いずれの地点も解散は昼近くの予定。雨天決行です。調査ですので参加費は要りません。

ご自分のフィールドでカモ類の調査をされた方は種別カウントデータを集計担当の三田長久まで1月31日を目途にお送り下さい。

送付先住所：

白頭鷺の英名講座・第10回

アオゲラ・カヤクグリ

英名で頭に“Japanese”がつき、しかも日本固有種をフィールド・ガイドから拾ってみると、次の三種となります。

Japanese Green Woodpecker -アオゲラ

Japanese Wagtail -セグロセキレイ

Japanese Accentor -カヤクグリ

アオゲラの「あお」はBlue（青）ではなく、Green（緑）の「あお」の意で、「日本のみどり色のキツツキ」ということとなります。

カヤクグリはイワヒバリ科（Accentor）に属し、世界に12種、日本に3種が確認されていますが、その中でカヤクグリのみが純粋に日本固有種です。その3種とは、

カヤクグリ Japanese Accentor

イワヒバリ Alpine Accentor

ヤマヒバリ Siberian Accentor

ですが、accentor（アクセント）という名でまとめられています。Accentorとはラテン語で“one who sings with another”

「他の人と共に歌う者」であり、この類は「美しい声でさえずる」のを特徴としているようです。なお、言葉にアクセントをつける、あの“アクセント”も同じ語源から発しています。

この3種のAccentorにそれぞれ別の形容詞がついていて、その分布を示しています。イワヒバリは“Alpine”即ち「高山性の」鳥であり、ヤマヒバリは“Siberian”「シベリアの」鳥で主としてウラル以東のタイガとアルタイ山脈などで繁殖します。

図鑑には簡単な分布図が載っていますので、一寸その方にも目を通しておくと、頭の片隅に印象が残るものです。特にこの“Accentor”の場合には英名がずばりその分布を示していて、英名の効用がはっきりしていました。

今回は“Japanese”が頭につくが日本固有の鳥ではないものについて、何故“Japanese”がついているのかを探ってみたいと思います。

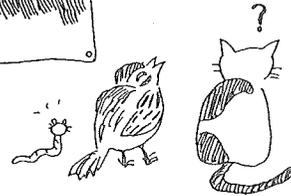
野鳥情報

- ササゴイ ◇9月30日、飯能市下畑、成木川で1羽（藤森三治・恵美子）。
- アマサギ ◇9月15日、行田市野付近の休耕田でアマサギ、チュウサギの群れ約100羽（内藤義雄）。
- オシドリ ◇10月19日、飯能市下畑、成木川で♂♀各1羽。♂はまだエクリプス（藤森三治・恵美子）。
- オオタカ ◇10月23日、北本市石戸宿で1羽（古沢紀）。
- ツミ ◇9月29日、飯能市下畑、成木川付近の雑木林で1羽（藤森三治・恵美子）。◇10月23日、北本市石戸宿で♀1羽（古沢紀）。
- タゲリ ◇10月30日、桶川市川田谷で2羽（鈴木博志）。
- ケリ ◇10月30日、川島町紫竹で8羽（鈴木博志）。
- ハマシギ ◇10月23日、熊谷市の別府沼で5羽（鈴木博志）。◇10月27日、志木市の柳瀬川栄橋上流の中州で29羽（山口芳郎）。
- ツルシギ ◇10月30日、熊谷市の別府沼で1羽（鈴木博志）。
- アオアシシギ ◇10月15日、熊谷市の別府沼で1羽（鈴木博志）。
- クサシギ ◇10月15日、熊谷市の別府沼で1羽（鈴木博志）。
- セイタカシギ ◇10月15日、熊谷市の別府沼で2羽（鈴木博志）。



- ツツドリ ◇9月25日、秩父市美の山で1羽（山岸昭治）。◇9月26日、秩父市の羊山公園で2羽。10月26日、28日にも1羽。虹彩褐色（山岸昭治）。◇10月13日、戸田市の戸田公園で幼鳥1羽（高橋達也）。
- カッコウ ◇10月25日、秩父市の羊山公園で2羽。虹彩黄色（山岸昭治）。
- ホトトギス ◇9月28日、秩父市の羊山公園で1羽（山岸昭治）。
- ハリオアマツバメ ◇10月23日、長瀨町中野上の自宅上空で7羽。ヒメアマツバメ1羽とともに飛び回る（井上幹男）。
- ヒメアマツバメ ◇10月30日、入間市の加治丘陵、桜山展望台付近で1羽（山本真貴子）。
- アマツバメ ◇10月1日、大宮市指扇の自宅付近上空で2羽。高速で南から北へ通過（松井昭吾）。
- ヤマセミ ◇9月13日、秩父市の羊山公園で1羽（山岸昭治）。◇9月15日、飯能市下畑、成木川で1羽（藤森三治・恵美子）。
- アリスイ ◇10月5日、戸田市道満で1羽（高橋達也）。
- アオゲラ ◇9月7日、秩父市の羊山公園で1羽（山岸昭治）。
- アカゲラ ◇9月11日、秩父市の県民の森で1羽（山岸昭治）。
- ツバメ ◇10月5日、飯能市下畑、成木川上空で2羽（藤森三治・恵美子）。
- ピンズイ ◇10月28日、秩父市の羊山公園で1羽（山岸昭治）。
- ジョウビタキ ◇10月19日、飯能市下畑、成木川付近の雑木林で♂1羽（藤森三治・恵美子）。◇10月31日、秩父市の羊山公園で♀1羽（山岸昭治）。
- ノビタキ ◇10月17日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で2羽（高橋達也）。
- トラツグミ ◇10月30日、入間市の加治丘陵、桜山展望台付近の雑木林で1羽（山本真貴子）。
- ウグイス ◇10月2日、坂戸市城山で1羽。今の時期にしては、珍しくさえずる（増尾隆）。
- キクイタダキ ◇10月15日、長瀨町の宝登山で1羽（井上幹男）。

キビタキ ◇10月8日、伊奈町小室の自宅のハナミズキで♂1羽(鈴木博志)。◇10月26日、秩父市の羊山公園で♀1羽(山岸昭治)。
 ムギマキ ◇9月23日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♀1羽(細井要)。
 オオルリ ◇9月11日、秩父市の県民の森で若鳥1羽(山岸昭治)。
 エゾビタキ ◇9月23日、熊谷市大麻生の野鳥の森で1羽(鈴木深雪)。◇9月23日、行田市のさきたま古墳公園で1羽(鈴木深雪)。◇9月30日、秩父市の羊山公園で3羽。昨夜の台風に乗ってきたか?10月1日にも同所で合計9羽(山岸昭治)。◇10月1日、寄居町桜沢の自宅庭の柿の木の頂で1羽。約1時間フライングキャッチを繰り返していました。妻と二人で食事の準備もそっちのけでかわいいクリクリ目玉にうっとり(小池一男)。◇10月24日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。
 コサメビタキ ◇9月11日、秩父市の県民の森で1羽(山岸昭治)。◇10月1日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。
 エナガ ◇9月6日、秩父市の羊山公園でエナガ、シジュウカラ、コゲラ、メジロの混群(山岸昭治)。◇10月26日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で10羽前後。カラ類と混群をつくる(古沢紀)。
 コガラ ◇10月15日、長瀨町の宝登山で2羽(井上幹男)。
 ヒガラ ◇9月11日、秩父市の県民の森で1羽(山岸昭治)。◇10月25日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。
 ヤマガラ ◇9月7日、秩父市の羊山公園で3羽(山岸昭治)。◇9月23日、行田市のさきたま古墳公園でエゴの実に数羽(鈴木深



(押川 歳子)

雪)。◇10月26日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で多数(古沢紀)。
 ゴジュウカラ ◇10月15日、長瀨町の宝登山で2羽(井上幹男)。
 アトリ ◇9月23日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で2羽(細井要)。
 マヒワ ◇9月23日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で30羽以上(細井要)。
 イカル ◇9月1日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。
 シメ ◇10月26日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で30~40羽(古沢紀)。◇10月27日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。◇10月27日、吹上町荊原で1羽(栗原省三)。◇10月27日、秩父市の羊山公園で7羽(山岸昭治)。
 ムクドリ ◇10月22日、富士見市の柳瀬川左岸の田んぼ白化個体1羽(山口芳郎)。
 カケス ◇10月10日、鴻巣市の導水路荒川落口付近で1羽(長島岩雄)。◇10月23日、滑川町の森林公園で1羽(藤原寛治)。◇10月27日、戸田市戸田公園で1羽(高橋達也)。

表紙の写真

『気ままにバードウォッチング』掲載作品

コハクチョウ (ガンカモ科)

冬の間、川本町の荒川を賑わしてくれる白鳥たち。決まった時間に餌をもらえて居心地が良いためか、年々増えて100羽以上もやって来るようになってきました。
 青い水面に真っ白な体と黄色のくちばしが

まぶしく見えます。そんな中に混じっている灰色の若鳥は、まだくちばしの黄色は少し薄めですが、その先のピンクがあった部分は、成鳥には見られない美しさのように感じます。
 進藤 隆 (寄居町)

行事あんない



(渡辺 敦)

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月4日（日）

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口、集合後、タクシーで現地へ、リーダーの指示により分乗して下さい。

担当：岡安、吉原、内藤、榎本、永野（安）、永野（京）、渡辺（光）、川那部

見どころ：「その人にしか出せない色がある」絵筆を置き友はふと言う。寒林を彩る鳥たち。'94年冬・石戸宿。蒼鷹、赤啄木鳥、深山頬白、尉鷲。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：12月4日（日）

集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口、集合後バスで現地へ。十王バス「新伊勢崎」行に乗車、「阪東大橋南詰」下車

担当：町田、菱沼（一）、小池、林（滋）、小淵、小野沢、関根、根岸、和田、中島（章）、石井（博）

見どころ：カモ達のオンパレード、オオタカ、ハヤブサが加われば言う事なし。川面をわたるからっ風対策お忘れなく。暖かい飲物もね。

浦和市・見沼ヘルシーロード探鳥会

期日：12月10日（土）

集合：午前9時 大崎事業所裏の芝生グラウンド

交通：JR浦和駅西口1番バス乗場より、大崎園芸植物園行き8:16発、またはさぎ山記念公園行き8:24発に乗車、大崎園芸植物園下車。

担当：伊藤、楠見、桜庭、笠原、新堂、高松、渡辺（光）

見どころ：寒い朝、白い息を吐きながら、ツグミやジョウビタキの顔を見たさに、ヘルシーロードを歩きます。タゲリたちにも会えるといいな。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月11日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：菱沼（一）、森本、小池、田口、菱沼（洋）、斉藤、根岸、中島（章）、和田、石井（博）

見どころ：いよいよ冬本番の大麻生！冬の小鳥、ジョウビタキ、カシラダカ、アオジ、シメなど。常連客に加えてどんな珍客が訪れるかお楽しみ。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月11日（日）

集合：午前9時10分 西武線西武球場前駅前

交通：西武狭山線西所沢8:58発→西武球場前9:03着

担当：三田、石井（幸）、長谷部、小野、杉本、山本、中村（祐）、久保田

見どころ：カイツブリ類が水面より1m以上の高さを飛んでいるのを見たことがありますか！…今年も、カンムリカイツブリはきっと北の国から飛んで来てくれるでしょう。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月18日（日）
集合：午前9時30分 森林公園南口駐車場
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バスに乗車、終点下車
費用：入園料390円（子供80円）
担当：吉原、岡安、榎本、長谷部、立岩、内藤、石井（幸）、佐久間、逸見、渡辺（光）、中村（治）、藤掛

見どころ：'94年最後の探鳥会！オシドリやルリビタキに会えたら今年是最良の年。ミヤマホオジロにも会えたら、いくらなんでもそれでは来年が恐ろしい？

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：12月18日（日）
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ） または、午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、岡部、嶋田、倉林、兼元、若林
見どころ：三室の鳥を見て年が明け、三室の鳥を見て一年が終わる。そうしないと気持ちが落ちつかないという人が多くいる。仲間と鳥の集いあう探鳥会へ！お出でなさいませ。

支部創立10周年記念年末講演会

期日：12月23日（金・祝） 午後1時30分～4時30分。（受付開始、午後1時）
会場：埼玉県民活動総合センター（伊奈町）
TEL 048-728-7111
交通：ニューシャトル大宮駅12:00又は12:30発、羽貫駅下車、送迎無料バス接続（大宮駅から会場まで約45分）。又はJR上尾駅東口から伊奈学園行きバス12:48発、終点下車、徒歩約10分（上尾駅から

約35分）。無料駐車場あり。

第1部 短編ビデオフェスティバル

午後1時30分～午後3時 参加費無料
「支部昔ばなし」「香港の珍鳥」など秀作7本を一挙に映写。見ごたえあります。

第2部 加藤幸子講演会「鳥と自然」

午後3時～午後4時30分 参加費無料
芥川賞受賞作家・野鳥の会理事の加藤さんの話が聞ける!! ご本人の著作も当日会場で販売。

第3部 懇親会（希望者のみ）

午後5時～午後6時30分 参加費3,000円
1階レストランで楽しく語らいの時を過ごします。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月24日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：12月24日（土）午後2時～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

浦和市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：平成7年1月3日（火）
集合：午前9時30分 さぎ山記念公園駐車場
交通：大宮駅東口7番バス乗り場から中野田引返場行きで約20分、上野田下車。当日は正月ダイヤで、1時間に3～4本運行されるはずです。
担当：海老原、松井、楠見、桜庭、工藤、藤原、新堂、高松、佐藤（進）
見どころ：毎年恒例、この日だけはお酒持参OK。もちろん飲んで良いのは、探鳥会が終わってから。鳥仲間たちと新年の挨拶を交わし、酌み交わす杯。持ち寄った料理の味も格別。

平成7年1月28日（土）～29日（日）伊豆沼探鳥会（予約制）、詳細は1月号で案内。

注意：JR・私鉄等12月初旬にダイヤ改正が予定されています。時刻表をお確かめの上お出掛け下さい。

行事報告

6月4日(土) 茨城県 浮島湿原

参加: 29人 天気: 晴

カイツブリ ヨシゴイ オオヨシゴイ ゴイサギ
ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ ヒドリ
ガモ バン コチドリ ツバメチドリ コアジサ
シ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセ
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ オオセッカ
セッカ コヨシキリ オオヨシキリ コジュリン
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (30種) 予定時刻に、緑のジュウタ
ンを敷き詰めたように美しい浮島に到着。コヨシ
キリやオオヨシキリなどの大合唱が歓迎してくれ
た。浮島名物のコジュリンやオオセッカを十分に
観察でき、おまけにオオヨシゴイやツバメチドリ
まで見られた。帰りのバスの中では、この日見ら
れた鳥に乾杯した。(中島康夫)

9月4日(日) 千葉県 船橋海浜公園

参加: 50人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ スズガモ シロチド
リ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ
トウネン ハマシギ ミユビシギ キアシシギ
チュウシャクシギ ウミネコ アジサシ コアジ
サシ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ
セッカ スズメ オナガ (23種) 9月に入っても
とにかく暑い日が続く。その中、多くの参加者が
来られたが、大潮のためコアジサシなどの数が少
なくちょっぴり残念な探鳥会となった。でも、皆
さんに三番瀬を見てもらっただけでも良かったか
なと思った。(佐久間博文)

9月10日(土) 坂戸市 高麗川

参加: 43人 天気: 晴

カイツブリ ダイサギ コサギ タカSP コジ
ュケイ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ
ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨド
リ モズ オオヨシキリ シジュウカラ メジロ
ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス (23種) 残暑厳しい

日だったが、土手には彼岸花も咲き、秋が間近に
感じられた。しかし、鳥の数は少なく、初めて川
角の探鳥会に参加された方は物足りなく感じられ
たと思う。それでもカワセミが何回も見られたの
は、救いだっただ。(中島康夫)

9月11日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

参加: 36人 天気: 晴

ゴイサギ ダイサギ チュウサギ コサギ チョ
ウゲンボウ キジ クサシギ タシギ キジバト
ツツドリ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ
コシアカツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒ
ヨドリ モズ セッカ シジュウカラ カワラヒ
ワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブ
トガラス (25種) 心配した台風はどこへやら。と
にかく暑い。ツバメ4種確認。自動販売機のジュ
ースのうまいこと。(福井恒人)

9月15日(木、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア: 16人

阿部やす子、荒木恒夫、石井 智、海老原教子、
海老原美夫、小池一男、小池順子、佐久間博文、
佐藤 進、中村榮男、橋口長和、福井恒人、福井
亘、町田好一郎、松井昭吾、三田長久 ~~々々々~~
雨の中、どうも御苦労様でした。

9月23日(金、休) 寄居町 鐘撞堂山

参加: 14人 天気: 曇後晴

トビ サシバ コジュケイ キジバト コゲラ
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ
ヨドリ モズ ウグイス エゾビタキ エナガ
ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カ
ワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 朝7時
まで雨が降っていたため、参加者も少なく、のん
びりとした探鳥会となった。山道では、カラ類の
混群や様々なキノコを楽しむことができた。山頂
では、サシバやエゾビタキなどの定番が姿を見せ
てくれ、何とか探鳥会らしくなった。(田口浩司)

9月24日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13人

岩上昭代、海老原教子、海老原美夫、工藤洋三、佐久間博文、篠原東彦、中村 治、中村榮男、藤野富代、松元達夫、安原久子、谷津弘子、渡辺喜八郎

9月25日(日) 狭山市 入間川

参加: 19人 天気: 曇

ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ トビ
コジュケイ イソシギ キジバト アオゲラ コ
ゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセ
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ サン
コウチョウ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (27種) 稲荷山公園に
サンコウチョウが出ました。ヤマガラやシジュ
ウカラと混群をつくっていましたが、とても分りづ
らいので、今まで見落としていたかもしれません。
秋の渡りの時期には、カラの混群をしっかりと観察
しましょう! (長谷部謙二)

10月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 56人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ チュウサギ コサギ コガ
モ オオタカ ツミ ノスリ サシバ ハヤブサ
コジュケイ キジ バン カモメsp キジバト
アマツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ ショ
ウドウツバメ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ ヤ
マガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズ
メ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブ
トガラス (32種) 集合場所に出現したカワウの編
隊を皮切りに、ワシ・タカのオンパレード。別れ
を惜しむサシバは3度も帆翔する姿を披露。カケ
ス、ヒヨドリの渡りや、恒例のカワセミも見られ、
盛りだくさんの一日だった。(岡安征也)

10月2日(日) 川口市 差間

参加: 51人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ チュウサギ コ
サギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ バ
ン イソシギ シラコバト キジバト カワセミ
ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ
セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (28種) 久し振りに通船堀でカワセ

ミが見られ、芝川沿いでシラコバトを間近でじっ
くり観察。期待を込めてツツドリのポイントに行
くと、数日前の台風で、クヌギについていた毛虫
が落ちてしまっていて姿なし。朝の下見では沢山
居たノビタキも最後まで姿を見せてくれなかった。
期待の2種が見られなくて残念。(手塚正義)

10月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 46人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ
トビ ノスリ ハヤブサ チョウゲンボウ ウズ
ラ キジバト ツツドリ ホトトギス カワセミ
アカゲラ コゲラ ヒバリ ショウドウツバメ
イワツバメ ヒヨドリ モズ ノビタキ オオヨ
シキリ セッカ ムシクイsp サメビタキ エ
ゾビタキ コサメビタキ シジュウカラ メジロ
ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケ
ス ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 乱
舞するショウドウツバメ、渡るヒヨドリの群れ、
行き交うカケスたち、大群のカワラヒワとこの日
の大麻生は、鳥たちのざわめきが聞こえてくるよ
う。増水のため、いつもと逆のコースで旧押切橋
に向かう。ゴルフ場の梅林で、ツツドリとホトト
ギス。またまたゴルフ場の林で赤色型のツツドリ。
エゾビタキ、サメビタキの姿も。カワラヒワの群
れを狙ってか、チョウゲンボウとハヤブサが飛ぶ。
くさむらのウズラをじっくり至近距離から観察。
かわいそうなので早々に開放。その後も、カワセ
ミ、ノビタキ、コサメビタキをじっくり観察。最
後まで興奮さめやらぬ探鳥会。(菱沼一充)

10月9日(日) 北川辺町 渡良瀨遊水池

参加: 29人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ
コガモ ミサゴ トビ オオタカ サシバ チュ
ウヒ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン
キジバト アマツバメ アカゲラ ヒバリ ショ
ウドウツバメ ツバメ セグロセキレイ ヒヨド
リ モズ コヨシキリ セッカ シジュウカラ
ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケ
ス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
(35種) 快晴の秋空高く、ミサゴ、オオタカ、チ
ュウヒ、サシバ、チョウゲンボウが何回もソワリ
ング。それだけで全員大満足。さすが渡良瀨。渡
りの途中のショウドウツバメの群れ、数羽単位で
渡るカケス等も見られた。(中島康夫)

連絡 中長

●野鳥の会のカレンダー'95 発売中 ——
例年にもまして今回の写真は評価が高く、
売れ行きも好調です。定価 1,100円を、会員
価格 990円で発売中。探鳥会などでお求めく
ださい。

●『気ままにバードウォッチング』も ——
アズ熊谷でのパネル展会場だけで40冊以上
売れるなど、出足好調です。立派な内容に驚
いたとの手紙も届きました。社交辞令と分か
っていても、担当者一同、とりあえずほっと
しています。

●土曜日当番と校正作業 ——
2月号にも掲載しましたが、土曜日当番と
いうのは、役員・リーダーが交代で事務局に
つめて、会員や一般からのさまざまな問い合
わせ、連絡などにに対し、事務処理を分担す
るものです。

通常は、海老原美夫事務局長が自分の事務
所で仕事をしながら、支部としての電話対応
などもしていますが、なかなか十分な時間を
かけることができません。事務局に御用の方
は、できるだけ土曜日当番のいる時間内にお
願います。

編集会議と袋づめの会の間の土曜日は、校
正の日。『しらこぼと』の校正作業をしてい
ます。当番の人だけではなく、どなたでも参
加できます。どうぞお手伝いください。

●野生の生きもの写真コンクール ——
主催 埼玉県
テーマ 県内で撮影された野生生物(魚・両
生類・爬虫類・野鳥・哺乳類・昆虫・植
物)の生態
応募資格 県内在住または県内通勤通学者
応募方法 4つ切りプリント裏面に、被写体
名・撮影日時・場所、出品者の住所・氏
名・年齢・職業・電話番号を明記
送付・問合せ先 336 浦和市高砂3-15-1 埼
玉県環境部自然保護課野生生物係

TEL 048-830-3154

募集期間 平成6年12月1日

～平成7年1月31日

注意 応募作品は返却しない。入賞作品の版
権は県に所属。1人何点でも可。未発表
作品に限る。合成写真・組写真不可。

- 12月の土曜日当番(2時～6時) ——
- 3日 中島康夫 楠見邦博(普及部会議)
- 10日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 17日 工藤洋三 新堂克浩(校正の日)
- 24日 袋づめの会(1時から)
- 31日 事務局休み

●会員数は ——
11月1日現在 2,454人です

活動報告

- 10月1日 普及部会議(探鳥会予定・年末講
演会など)
- 10月11日 埼玉新聞編集局長と、連載記事に
関する打ち合わせ(海老原)。
- 10月15日 編集会議(11月号編集作業)。
- 10月16日 役員会議(司会:岡安征也、事務
局賃貸借契約の更新・探鳥会予定・年末講
演会・その他)。
- 10月18日 事務局賃貸借契約更新手続き。
- 10月22日 11月号校正作業(海老原美夫、小
野光明、笠原伸子、工藤洋三)。
- 10月26日 『気ままにバードウォッチング』
第1回納本。

編集後記

埼玉の基本の鳥66種の美しい写真と探鳥地
15ヶ所を解説した『気ままにバードウォッチ
ング』(幹書房)は、埼玉で普通に見られる
鳥を選び出して編集した本です。

自然を大切にすることは、身の回りの身近な
自然を見つめる事に始まります。一人でも多
くの人に見てもらいたいと、地元の公立図書
館にリクエストしました。各地の図書館にリ
クエストしてみませんか。(小荷田行男)

『しらこぼと』1994年12月号(第128号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用